

学年だより

富士市立吉原北中学校 第2学年
学年テーマ

「夢の実現を目指して f f 編」
～志を立て、互いに切磋琢磨する～

令和7年3月号 NO.12

～生徒の皆さんへ～

感謝する心をもつと幸せ気分に 「おかげさまで」

前回の学年だよりの際に、2月は「逃げる月」と言いましたが、本当にあっという間に過ぎてしまいました。終了式までのカウントダウンカレンダーの登校日数もあと12日となりました。今回は、感謝することについて話題にしてみます。

世間にはよく文句を言う人がいますが、あなたの近くにもそういう人はいませんか？聞いている方が嫌になるほど、「あの人は〇〇してくれない。」とか、「この人のここが悪い。」とか、少し怒った表情で不平や不満を言っています。

私が結婚して嫁いだ時、その学校に勤めていた用務員さんがこんな言葉を私にくれました。「家に帰った時、お姑さんが一つでも恵理子さんの仕事をやってくれていたら『ありがとう』って思うんだよ。『あれもしてくれてない…これもしてくれてない…』って思ってはだめだよ」と。私は、この言葉は、33年間大切にしています。80歳を過ぎた義母は、最近足が動かず思うように家事ができなくなってきました。でも、一つでもしてくれたら「ありがとう」って思うようにしています。その言葉の甲斐があって、今でも仲良く一緒に暮らしています。

Give and takeという言葉がありますが、良い人間関係はその心掛けをお互いに持つことによって成り立つのではないのでしょうか。やってもらい、また、やってあげるという「お返し」の心掛けが大事です。人間は誰も自分のプラスになることを願っています。何かを得たい…つまりテイクしたいと思っています。それは自分だけでなく、相手も同じです。立場を置き換えれば、テイクするという事はギヴする行為なのです。力を貸し合う精神がなく、自分ばかり有利になろうとすると、お互いに伸ばし合うどころか、つぶし合い、喧嘩が絶えません。国々の戦争もまさにそれが原因ではないかと思えます。私は何事にも感謝する心を持てば喧嘩や戦争はなくなると思っています。

「感謝する心」とは、言い換えれば「おかげさまで」という優しさと温かさのこもった心ではないのでしょうか。「おかげさまで」と感謝の気持ちで向かうと、自分の心も温かく軽くさわやかになり、幸せな気分が湧いてきます。

どうです？「1日1感謝」を実行してみませんか？

三年生を送る会に向けて
TWO「感」～感謝と感動～を
テーマに今、合唱を練習しています。
曲は「YELL」です。1・2年生で
素敵なハーモニーで感動させて、
感謝の気持ちが伝わるといいですね

進路説明会・学級懇談会の御参加ありがとうございました。

2月20日（木）に行われた進路説明会では、多くの保護者の方々が御出席くださり、ありがとうございました。カリキュラムに特色のある富士市立高校、吉原工業高校の先生方を招いての説明会でした。来年度は、6月と11月に予定しています。よろしくお願いいたします。

すでにいくつかの高校から2年生を対象とした学校説明会の案内がきています。3年生になると実に多くの高校から案内が届きます。進路について漠然としており、意欲が湧かない生徒にとっては、高校の説明会や体験入学などは目標を定める良い機会になるかもしれません。今後も、案内がありましたら、生徒たちに資料を配布したり、クラス掲示でお知らせをしたりしていきます。

☆学年末の2月テストが終わりました。テストはすべて返却され、テスト個票も生徒たちに渡しました。テストのファイルは、新年度新しい担任に引き継ぎます。記入後はお子様に現担任に提出するよう声掛けをお願いします。学習で苦手な教科を克服するには、長期休みの春休みの時間にゆとりがあり、じっくり取り組むことができます。振り返りから次への目標を見い出せるとよいです。

☆中2の頃から眼鏡を必要とする生徒が増加しています。毎年、4月に健康診断をしており、視力検査の結果を配布しました。中には専門医にかかれないまま、視力が低下していく生徒がいます。見えにくかったり、その他、健康面に心配事があったりしましたら、すぐに専門医に相談するなどしてください。

目を大切に

- ・PC、TVの見過ぎや近いところで見ていませんか？
- ・机、椅子の高さは適正ですか？
- ・部屋の明るさは適正ですか？
- ・姿勢は悪くないですか？
- ・時々遠くを見るようにしていますか？

☆エコキャップの御協力ありがとうございました。昇降口に各クラスの回収ボックスがあり、入れるようになっていきます。長い期間の中で、何回も持ってきて、生徒会活動を盛り上げた生徒もいました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

「三寒四温」

「三寒四温」とは、寒い日が3日ほど続くと、そのあと4日ほど温暖な日が続き、また寒くなるといったように7日周期で寒暖が繰り返される現象です。もともとは、中国の北京北部の言葉のようですが、日本では、春が近づき、気候がだんだん暖かくなるという意味にも用いられています。

さて、日本の春の象徴とも言える「桜」、桜の開花にはいろいろな説がありますが、よく積算温度が用いられます。元旦から数えて600度で開花とか、立春から足して行って540度で開花といった具合です。これは、ある程度の目安のようですが、桜は、冬の風雪にも耐えながら、「三寒四温」を繰り返し、徐々に太陽の暖かさをため込んでいっぱいになったら花が咲きます。このことは、どんなに辛く大変なことがあっても、いつかは「桜のように花が咲く」といった人間の生き方にも通じることが、日本人の桜を愛する由縁かもしれません。